



市章
City Emblem

稲沢の「い」を図案化。円は大きく抱く力と、円満、充実を表し、とがったかぎは、光明達成を暗示しています。



© 稲沢市 いなッピー

いなッピー
City Mascot : Inappy

頭は市特産の植木とアシタバ、体はイチヨウ、はちまきとフンドシは、国府宮はだか祭をイメージしています。



市の花 [キク]
City Flower : Chrysanthemum

全国有数のキクの生産地で、伝統技術の保存と継承によって生産される品種は高く評価されています。



市の木 [クロマツ]
City Tree : Japanese Black Pine

独特の伝承技術により生産されている仕立てクロマツは、全国でも有数の産地となっています。



市のロゴマーク
City Logo

市制60周年を機に、募集・選定したロゴマーク。稲沢の「い」をベースに、市民をはじめ市に関わるひとの一体感や信頼関係、市の今後の発展性とにぎわいなどをイメージしています。

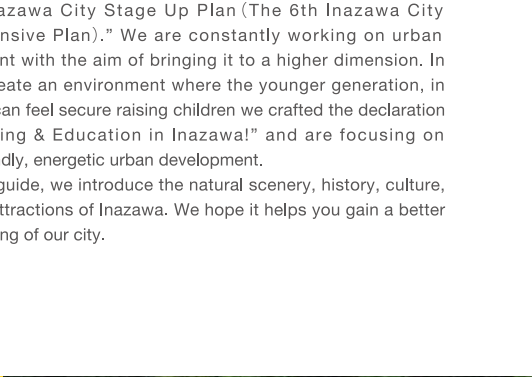
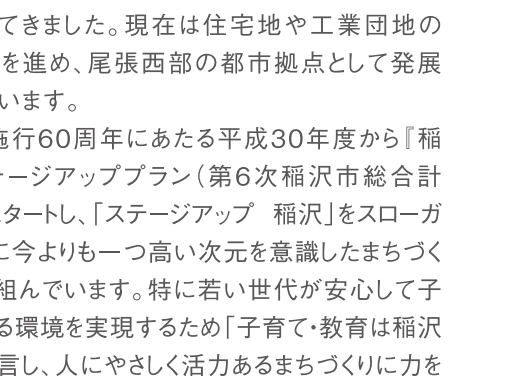
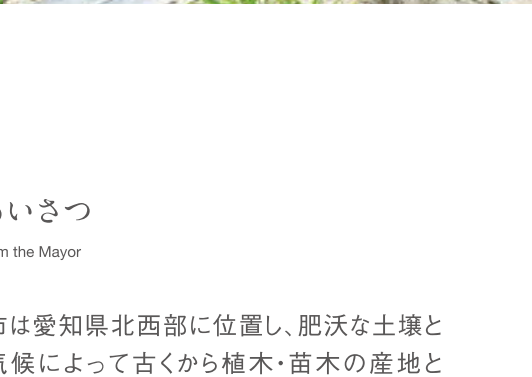
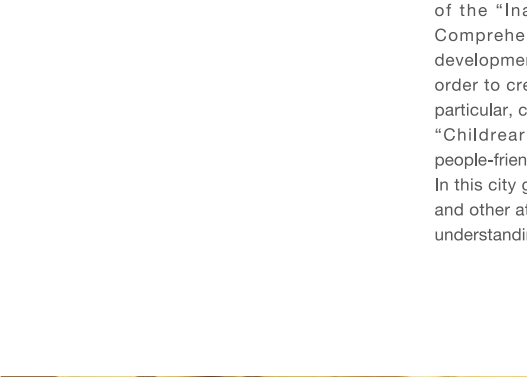
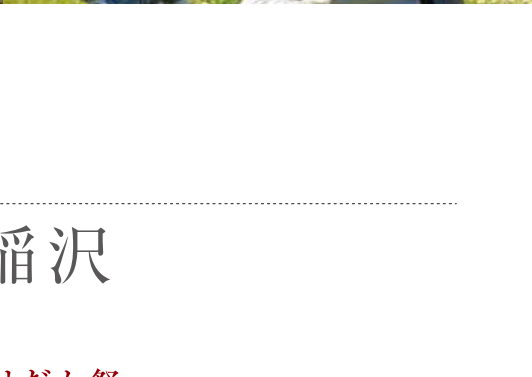
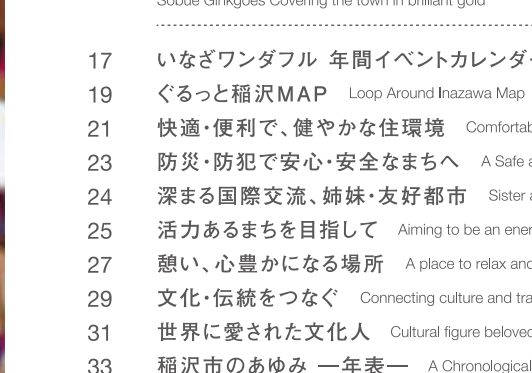
稲沢市市勢要覧

発行 > 愛知県 稲沢市
〒492-8269 愛知県稲沢市稲府町1
Tel.0587-32-1111 Fax.0587-23-1489
<http://www.city.inazawa.aichi.jp>
発行年月 > 2018年(平成30年)11月

Inazawa City Guide

Publisher : Inazawa City, Aichi Prefecture
Inabu-cho 1, Inazawa City, Aichi Prefecture 492-8269 Japan
Phone: +81-587-32-1111 Fax: +81-587-23-1489
<http://www.city.inazawa.aichi.jp>
Published in November, 2018





目次 Contents

1 市長あいさつ Greetings from the Mayor

特集 ココがいーな! 稲沢

3 子育て・教育は稲沢で!

Childrearing & Education in Inazawa!

7 勇壮絵巻、天下の奇祭。国府宮はだか祭

Konomiya Hadaka Matsuri A famously peculiar festival with the battalions of half-naked gallant men

9 人が集い、楽しむ水辺。サリオパーク祖父江

Sario Park Sobue People gathering and having fun on the waterfront

11 さまざまな品種が、長く楽しめる。平和桜ネックレス

Heiwa Sakura Necklace Enjoy a variety of types for an extended period.

13 伝統の技術と、豊かな大地に生まれ。植木・苗木

Plants and Seedlings Cultivated with traditional techniques and bountiful soil

14 淡い色が、梅雨空に映える。アジサイ

Hydrangeas Pale colors reflected in the skies of the rainy season

15 一面に、輝く黄金色。祖父江のイチョウ

Sobue Ginkgoes Covering the town in brilliant gold

17 いなざワワンダフル 年間イベントカレンダー INAZAWA WONDERFUL Annual Event Calendar

19 ぐるっと稲沢MAP Loop Around Inazawa Map

21 快適・便利で、健やかな住環境 Comfortable, convenient, and healthy living environment

23 防災・防犯で安心・安全なまちへ A Safe and Secure Town Through Disaster and Crime Prevention

24 深まる国際交流、姉妹・友好都市 Sister and Friendship Cities Deepening international exchange

25 活力あるまちを目指して Aiming to be an energetic town

27 憩い、心豊かになる場所 A place to relax and recharge

29 文化・伝統をつなぐ Connecting culture and tradition

31 世界に愛された文化人 Cultural figure beloved to the world

33 稲沢市のあゆみ 一年表 A Chronological History of Inazawa City

35 稲沢市ステージアッププラン(第6次稲沢市総合計画) 6th Inazawa City Comprehensive Plan Inazawa City Stage Up Plan

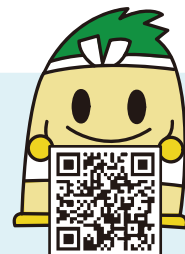
37 統計資料 Cultural figure beloved to the world

360°
パノラマ

バーチャル観光 稲沢名所ツアー

Virtual sightseeing - Tour Inazawa's sites

360°のパノラマ写真で、稲沢市内の名所をバーチャル体験できます。誌面に掲載されている各QRコードを、スマートフォンやタブレットで読み取りアクセスしてみましょう。稲沢の魅力が発見できますよ。



バーチャル観光

市長あいさつ

Greetings from the Mayor

稲沢市は愛知県北西部に位置し、肥沃な土壌と温和な気候によって古くから植木・苗木の産地として栄えてきました。現在は住宅地や工業団地の開発などを進め、尾張西部の都市拠点として発展し続けています。

市制施行60周年にあたる平成30年度から『稲沢市ステージアッププラン(第6次稲沢市総合計画)』がスタートし、「ステージアップ 稲沢」をスローガンに、常に今よりも一つ高い次元を意識したまちづくりに取り組んでいます。特に若い世代が安心して子育てできる環境を実現するため「子育て・教育は稲沢で!」を宣言し、人にやさしく活力あるまちづくりに力を注いでいます。

この市勢要覧では、稲沢の自然や歴史、文化などの魅力を紹介しています。本市への理解を一層深めていただければ幸いです。

Inazawa City is located in the northwestern portion of Aichi Prefecture. With its fertile soil and temperate climate it developed as a production region for plants and seedlings. Currently, development as a residential and industrial area is progressing as we develop as the urban hub in western Owari.

2018 celebrates 60 years since the city was established with the start of the "Inazawa City Stage Up Plan (The 6th Inazawa City Comprehensive Plan)." We are constantly working on urban development with the aim of bringing it to a higher dimension. In order to create an environment where the younger generation, in particular, can feel secure raising children we crafted the declaration "Childrearing & Education in Inazawa!" and are focusing on people-friendly, energetic urban development.

In this city guide, we introduce the natural scenery, history, culture, and other attractions of Inazawa. We hope it helps you gain a better understanding of our city.

子育て・ 教育は稲沢 で!

子どもは、家族、地域そして市の宝です。

子どもが健やかに成長できる環境づくりは何よりも大切です。

子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、

子どもの最善の利益を考え、

子どもと子育て世代への積極的な支援を進める必要があります。

稲沢市では、

「思いやり支え合い、地域で育む子育て支援」を基本理念に、

子育て支援策を通じた

魅力あるまちづくりの実現に向けて取り組んでいます。

Childrearing & Education in Inazawa!

Children are the treasures of our families, communities, and cities. Above all else, it is important to create an environment where children can grow up healthy. As the environment surrounding children changes rapidly, we need to think about the children's best interests and proactively provide support for the parenting generation. In Inazawa City we are striving to achieve appealing urban development with the basic philosophy of "Childrearing through thoughtful support of the community."



子育てサポート

「子育て・教育は稲沢で！」宣言

宣言を全国にPRするため、ステッカーを貼ったトラックが走ります。また「Baby in Car」バージョンのステッカーもあり、希望するかに配布しています。



パパもいっしょ!&ババクッキング

パパと子どもで、触れ合い遊びをしたり、パパが作ったおやつを食べたりする教室があり親子で楽しいひと時を過ごします。



教育サポート

小・中学校に空調設備(エアコン)を設置

市内の全小・中学校32校の普通教室に空調設備(エアコン)を設置し、高温対策と児童の学習環境を改善します。

ふるさと新発見学習

中学2年生が、稲沢市のよさや課題を見つめ直す活動に取り組み、郷土への愛着と誇りを醸成します。



幼稚園・保育園におけるさまざまな無償化事業

幼稚園の給食費補助や保育園の主食代無料をはじめ、多子世帯における幼稚園授業料や保育園保育料の段階的な無償化をすすめています。



充実した施設



長野子育て支援センター

市内には、子育て支援センター3カ所、児童館・児童センター11カ所、保育園33カ所幼稚園5カ所などがあり、さまざまな子育て施設が整っています。



子育て支援センターなどで、おもちゃを作ったり、いろいろなイベントに参加したりして、親子で楽しんでいます。「パパもいっしょ!」ではパパ自身が子どもとの接し方を学ぶことができ、家でも子どもと一緒に時間が増えて、とても感謝しています。



子育てを地域ぐるみで行えるよう、稲沢市では万全のサポート体制を整えています。親子のニーズに応えるため、切れ目のない支援もそのひとつ。妊娠期から出産、乳幼児期、学童期、思春期に至るまで、連続したサポートを提供しています。就学後のサービスもあり、安心して子育てができます。

子どもたちの未来を育む。切れ目のない、子育て支援を目指して。

Fostering children's futures Aiming for seamless childrearing support

Inazawa City has established a comprehensive support system so that childrearing can be undertaken by the community as a whole. Seamless support is part of meeting the needs of parents and children. We provide continuous support from pregnancy through childbirth, infancy, the school years, and adolescence. There are services available for schoolchildren as well, enabling reassuring childrearing.

ママベビーサポート

母子保健コーディネーターの配置

母子保健コーディネーターを配置し、地区担当の保健師とともにさまざまな相談を受け、適切なアドバイスや情報提供などの支援を行い、ワンストップ化を図っています。

産後お泊りケア事業

市内在住の産後4カ月未満の産婦で、体調の回復や育児への不安があるかたは、7日を限度として医療機関や助産院に泊りながら、保健指導などのサービスを受けられます。

こんにちは赤ちゃん訪問

生後4カ月までの赤ちゃんがいる全ての家庭を、地区の主任児童委員・保健師が訪問し、子育ての情報提供などを行います。



母子健康手帳の交付とPaPaノートの配布

保健センター・保健センター祖父江支所の2カ所で交付しています。子どもの成長や思い出を記録できる父親向けの手帳「PaPaノート」も配布し、パパの子育て参加を応援します。



母子健康手帳



PaPaノート

初妊婦教室の開催

母子健康手帳の交付や活用方法、母子に関する各種健康診査や教室、制度の紹介などを行っています。

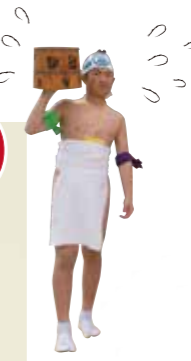


「こんにちは赤ちゃん訪問」で、保健師さんに自宅まで来ていただき、産後の悩みを親身に聞いていただいたり、育児アドバイスをもらったりして、とても心強く、安心することができました。最寄りの児童センターなども教えてもらえ、利用することができて助かっています。

勇壮絵巻、

天下の奇祭。

国府宮はだか祭



なおい笹奉納 Naoi-zasa Offering
裸男が厄除けを祈願したなおい布を付けた笹を奉納するため参道に集結し、勢いよく境内へ駆け込みます。
Naked men gather along the approach to the shrine to offer bamboo adorned with strips of cloths with prayers written on them and run through the grounds with great vigor.
こどもなおい笹奉納



「国府宮はだか祭」は、期間中に訪れる人が20万人ともいわれていいます。神男に触れようと、男たちが激しくもみ合う姿は圧巻です。この祭は正しくは「儺追神事(なおいしんじ)」といい、今から約1250年前、尾張国司が厄払いを尾張大國霊神社(国府宮)で行ったのが始まりと伝えられています。

Konomiya Hadaka Matsuri
A famously peculiar festival with the battalions of half-naked gallant men

About 200,000 people visit Konomiya Shrine during the naked festival. The highlight is watching as the men wrestle intensely as they try to touch the "holy man." The proper name of the festival is Naoi-Shinji and it is said the festival began by the Owari provincial governor approximately 1250 years ago at the Owari Okunitama Shrine (Konomiya Shrine) to drive off evil spirits.

人が集い、 楽しむ水辺。 サリオパーク祖父江

木曾川沿いに隣接する、国・県市、3つの公園の総合愛称は「砂」の音読み「サ」と、ポルトガル語で「川」を表す「リオ」を組み合わせた「サリオパーク祖父江」です。祖父江砂丘という木曾川独特の河畔砂丘は、全国的にも珍しい地形で、公園は砂丘を活用した造りが特徴です。木曾川での水上スポーツ、公園の大型複合遊具など、水辺の憩いの場として人々の人気を集めています。

Sario Park Sobue People gathering and having fun on the waterfront

A combination of the three national, prefectural, and municipal parks along the Kiso River was named the Sario Park Sobue using "sa" from the Chinese character for sand and "rio" which is Portuguese for river. The Sobue sand dunes are riverbank sand dunes unique to the Kiso River and rare topography even in Japan. The availability of water sports on the Kiso River and large play equipment in the park make it popular as a waterfront recreation area.

サップヨガ

浮力の高いボード(SUPボード)の上で、水に浮かんで行うヨガです。穏やかな木曾川のみなもで、楽しめます。



シクロクロス

未舗装の悪路で行われる自転車競技です。河畔砂丘を生かしたレースが開催されています。



バーチャル観光

市営祖父江ワイルドネイチャー緑地

Sobue Wild Nature Ryokuchi Municipal Park

野球場2面、ソフトボール場3面を備えた広大な運動公園です。芝生広場も整備され、グラウンドゴルフ、野球をはじめ、さまざまなスポーツに利用できます。

広大な運動公園!



県営木曾川祖父江緑地

Kisogawa Sobue Ryokuchi Prefectural Park

全長70mのローラー式滑り台やアスレチック、プールなどの子ども向け施設が充実しています。テニスコートやジョギングコースもあり、健康増進に広く利用できます。

楽しい遊具が充実!



国営木曾三川公園 ワイルドネイチャープラザ

Kiso Sansen National Government Park Wild Nature Plaza

緑の中でのバーベキュー、ウィンドサーフィンや水上バイクなどの水上スポーツが楽しめます。「稲沢夏まつり」や「稲沢サンドフェスタ」も開催されます。

さまざまなイベントが開催!



ココが
いーな!



稲沢サンドフェスタ Inazawa Sand Festa

毎年10月に開催される砂の造形美を競うイベント。砂像コンテストはもちろんサンドアート体験、宝探し大会など、砂遊びが満喫できます。

This sand sculpture competition is held annually in October. In addition to the sand sculpture contest, you can try your hand at sand art or participate in the treasure hunt.

さまざまな品種が、
長く楽しめる。

平和桜ネックレス



平和町にある桜並木は「桜ネックレス」と呼ばれています。約60種1400本の桜が咲き誇る様子は圧巻です。3月上旬に咲く「琉球寒緋桜」から、5月上旬に咲く「奈良八重桜」まで、桜を長期にわたり楽しめます。また、へいわさくらまつり、国府宮参道で開催される稲沢桜まつりがうらかな春の訪れを知らせます。

Heiwa Sakura Necklace Enjoy a variety of types for an extended period.

The rows of sakura (cherry blossom) trees in Heiwa Town are called the Sakura Necklace. It is truly a sight to behold the roughly 1400 trees of 60 varieties in bloom. The sakura here can be enjoyed for an extended period starting with the Ryukyu Kanhizakura that bloom in the beginning of March to the Nara Yae-zakura, which bloom in early May. The Heiwa Sakura Festival and Inazawa Sakura Festival held along the approach to Konomiya Shrine brightly signal the coming of spring.



稲沢桜まつり Inazawa Sakura Festival

国府宮参道一帯で、ステージイベントやフリーマーケット、特産品販売、飲食ブースなどが出店します。参道での夜間ライトアップもあります。



へいわさくらまつり Heiwa Sakura Festival

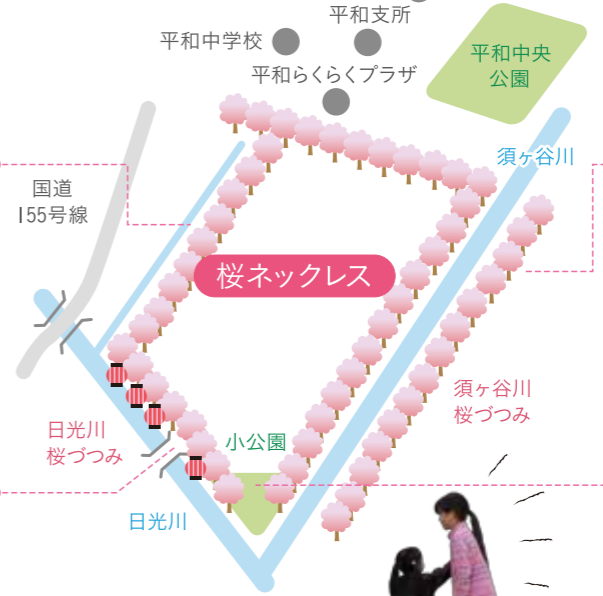
平和町体育館と周辺で、もち投げやステージイベント、各種店舗出店があります。日光川桜づつみでは、夜間ぼんぼり点灯があります。



桜ネックレス Sakura Necklace

日光川、須ヶ谷川兩岸を平和中央公園まで、総延長約2,800m、約1,400本の桜並木です。「桜のまち、平和」として、憩いの場、交流の場となっています。

ココが
いーな!





いーな!
アジサイ

淡い色が、
梅雨空に映える。
アジサイ

多くの文化財を有する性海寺を舞台に、アジサイが咲き誇ります。性海寺は別名「あじさい寺」と呼ばれ、隣接する大塚性海寺歴史公園には約90種1万株のアジサイが植えられています。見ごろを迎える6月には、「毎年恒例の「稲沢あじさいまつり」が開催され、各種イベントやアジサイの鉢花販売も行われます。

Hydrangeas Pale colors reflected in the skies of the rainy season

Shokaiji Temple, home to numerous cultural assets, boasts beautiful blooming hydrangeas. Shokaiji Temple, also known as "Hydrangea Temple" sits adjacent to Otsuka Shokaiji Historical Park where roughly 90 varieties and 10,000 hydrangea shrubs are planted. In June, when they are at their finest, the Inazawa Ajisai (Hydrangea) Festival is held featuring a variety of events and offering potted hydrangeas for sale.

90種のアジサイ 90 Varieties of Hydrangea

紅、花火などの国産品種に加え、外国産品種まで約90種。「稲沢あじさいまつり」の一環として写真コンテストを実施しています。

ココが
いーな!

稲沢あじさいまつり
Inazawa Ajisai (Hydrangea) Festival

大塚性海寺歴史公園・性海寺で開催されます。アジサイが、園内一帯に咲き誇り、人々の目を楽しませてくれます。また、多くの文化財も公開されます。



ガクアジサイ



ヤマアジサイ



バーチャル観光



いーな!
植木・苗木

伝統の技術と、
豊かな大地に育まれ。
植木・苗木

日本四大
生産地

古くから植木・苗木の生産地として発展してきた稲沢市。始まりは嘉暦3年(1328年)、国分寺の住職が柑橘苗木の生産技術を農家に伝えたとされています。特に矢合町は市内でも植木生産の盛んな地域の一つとなっています。また愛知県植木センターでは、基礎から資格修得までさまざまな講座が開かれ、本格的な植木と造園を学べます。

Plants and Seedlings Cultivated with traditional techniques and bountiful soil

Inazawa City developed from ancient times as a production region for plants and seedlings. It is said to have begun in 1328 when a head priest introduced citrus seedling production techniques to the local farmers. Yawase Town is one area of the city where plant production thrives in particular. At the Aichi Prefectural Ueki (plant) Center a variety of classes are held ranging from the basics to qualification granting courses, and you can learn genuine gardening and landscaping skills.

ココが
いーな!

いなざわ植木まつり
Inazawa Ueki (Plant) Festival

国府宮参道に、約300種・5万本もの植木が出品されます。植木・苗木販売や親子体験講座、セリ市など、さまざまな催しが開かれます。



一面に、輝く黄金色。 祖父江のイチョウ

晩秋を迎えると、イチョウでまちが黄金色に染まる祖父江町。樹齢100年を超えるイチョウの大木、イチョウ並木のトンネルなどが見どころで、撮影スポットとしても人気です。「そぶえイチョウ黄葉まつり」では、ギンナンを使ったグルメや屋台が並び、市内外から多くの観光客が訪れます。

Sobue Ginkgoes Covering the town in brilliant gold

When late autumn comes ginkgoes cover the town of Sobue in gold. Among the giant ginkgo trees that have been standing more than 100 years, the tunnel created by the rows of trees is a must-see and a popular photo spot. At the Sobue Icho Koyo (Golden Ginkgo) Festival there are stalls offering ginkgo nut delicacies, and tourists visit the festival from both within and outside the city.



ココがいーな!

そぶえイチョウ黄葉まつり Sobue Icho Koyo (Golden Ginkgo) Festival

写真・俳句コンテストや特産品の販売の他、各種催しが開かれます。また期間中にはライトアップも行われ、夜のイチョウも楽しめます。



「ギンナン」を使った料理も、盛りだくさん。



イチョウの品種と特性 Ginkgo varieties and characteristics

藤九郎 Tokuro	久寿(久治) Kyuji	金兵衛 Kinbe	栄神(栄信) Eishin
出荷時期：10月～翌4月	出荷時期：9月～翌4月	出荷時期：7月～翌4月	出荷時期：7月～翌4月
殻が薄いため、早出しには不向きですが、実は最も大きく、種皮も白く美しいのが特徴です。また、貯蔵性にも長けています。	もちりとした食感で、苦みが少なくまるやかな味が特徴です。粒ぞろいが良いため市場性が高い品種です。	早出しギンナンとして7月頃から出荷されます。また、貯蔵性に長けているため、4月頃まで出荷されています。	ほかの品種に比べると落葉期が1カ月ほど遅いですが、胴張りが良く、凹凸が少ないことが特徴です。食味良好で貯蔵性が高い品種です。

ココがいーな!



祐専寺イチョウ
Yusenji Temple Ginkgo
高さ約20m、樹齢推定250年以上。祖父江町に植えられている品種の原木といわれています。
It stands 20m tall and is aged 250 and over. It is said to be the original variety of planted in Sobue Town.



いなざわワンダフル 年間イベントカレンダー

伝統や季節を感じるイベント

風物詩として知られる「はだか祭」をはじめ、年間を通じてさまざまな祭りやイベントが開催されます。昔からのしきたりや風習を受け継ぎ、伝統や特色を残した行事が各地区に残ります。

四季を感じるイベントのほか、人と人がつながる文化スポーツのイベントなども開催され、稲沢のまちに活気を生み出しています。

INAZAWA WONDERFUL Annual Event Calendar Traditional and Seasonal Events

There are a variety of festivals and events held throughout the year that evoke seasonal images, beginning with the Naked Festival. Traditions and customs from ancient times have been passed down and events steeped in tradition remain in each region. In addition to seasonal events, there are also cultural sporting events that link people together and infuse Inazawa with energy.



10月 稲沢サンドフェスタ Inazawa Sand Festa

河畔砂丘の砂を使った全国でも珍しいサンドアートです。高さ約2mの砂像群は迫力満点です。ミニ砂像づくり体験などイベントが盛りだくさんです。



国際交流のタベ International Exchange Evening

12
DECEMBER

- 稲沢イルミネーション



11
NOVEMBER

- 国際交流のタベ
- 平和まつり
- 稲沢シティーマラソン
- そぶえイチョウ黄葉まつり
- 稲沢イルミネーション
- 稲沢音楽祭

10
OCTOBER

- 稲沢サンドフェスタ
- 稲沢まつり
- 稲沢市消費生活展
- 市民病院まつり
- 福祉まつり
- 市民展
- 秋の芸術祭

9
SEPTEMBER



8
AUGUST

- サマーフェスタへいわ
- そぶえ夏まつり
- 稲沢夏まつり

7
JULY

- 尾張の虫送り行事
- こがし祭り

6
JUNE

- 稲沢あじさいまつり
- こどもフェスティバル

5
MAY

- 文化財公開デー

4
APRIL

- へいわさくらまつり
- 稲沢桜まつり
- いなざわ植木まつり
- 春の芸術祭

3
MARCH

- いなざわ梅まつり

2
FEBRUARY

- 国府宮はだか祭

1
JANUARY



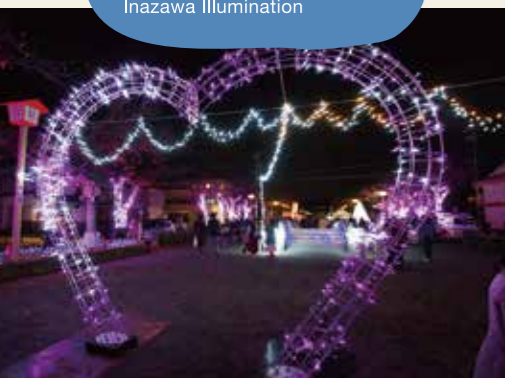
11月

稲沢シティーマラソン Inazawa City Marathon

ジョギング2.5km、マラソン2.5km・3km・10kmを走破する、稲沢市最大のスポーツイベントです。



稲沢イルミネーション Inazawa Illumination



8月

稲沢夏まつり Inazawa Natsu (Summer) Festival

尾張地区最大級のナイアガラ花火や打ち上げ花火などでまつりを盛り上げます。



2月

はだか祭 Naked Festival



11月

市民体育大会(ボウリング) City Gymnasium (Bowling)

1フロア116レーンのギネス記録を持つボウリング場で、熱戦が繰り広げられます。



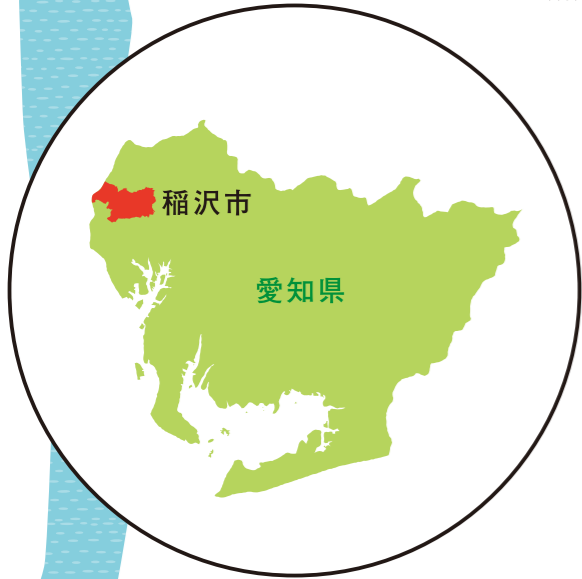
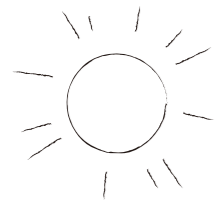
バーチャル観光



バーチャル観光



バーチャル観光



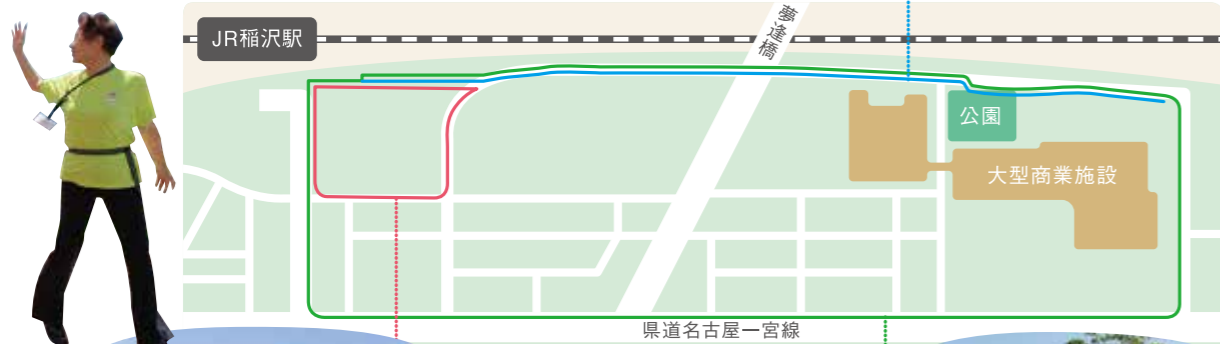
快適・便利で、
健やかな住環境

稲沢フィットネスロード

稲沢フィットネスロードには、3つのコースがあります。ウォーミングアップからクールダウンまで、特長のあるエリアのウォーク・ライン、長距離コースのロング・ライン、短い距離のショート・ライン。自分にあったコースが選べます。



ウォーク・ライン
Walk Line
直線コース 800m



ロング・ライン
Long Line
周回コース 2,400m



ショート・ライン
Short Line
ショートコース 650m



稲沢市民病院 Inazawa Municipal Hospital

Comfortable, convenient, and healthy living environment

平成26年11月に移転・開院。入院や手術、高度な検査・治療が行えるほか、急病や事故の時に安心して受診できる救急医療を整えています。

いきいきいなざわ 健康春フェスタ

Lively Inazawa Healthy Spring Festa

稲沢フィットネスロードを使ったウォーキング、大型商業施設内でのからだのゆがみ度・体組成計測定、血管年齢測定、骨の健康度測定など各健康チェックがある、見る・知る・体験する健康イベントです。



環境ボランティア 「稲沢市さわやか隊」

Environment Volunteer (Inazawa City Energizing Squad)
月に数回、路上喫煙やごみの不法投棄など、地域を見回り、快適な生活環境を守っています。



コミュニティバス Community Bus

市内各施設と公共施設、医療機関、商業施設、鉄道駅などを結び、1乗車200円で利用できます。またコミュニティタクシーは、特定のバス停留所とタクシー乗り場の間をバス接続便として利用できます。

整備された
交通基盤や
環境保全

A town that offers peace of mind and healthy living

Aiming to be a town where people can live vibrant lives, Inazawa City is building an environment to promote health. In 2014, Inazawa Municipal Hospital was rebuilt in a location with a lush green park spreading before it. There are also other locations throughout the city, such as Heiwa Rakuraku Plaza and Inazawa Fitness Road that make it easy to maintain good health. There are community buses that also take people to Inazawa Municipal Hospital, making it easier for the elderly and parents of small children to get out and about. We also engage in activities to protect our beautiful natural scenery and pleasant environment, such as the environment beautification projects conducted by the Inazawa City Energizing Squad.

「イキイキと生活できるまちを目指し、稲沢市では健康増進に取り組める環境を備えています。平成26年に新しく生まれ変わった「稲沢市民病院」は、目の前に緑豊かな公園が広がるロケーション。また市内には「平和らくらくプラザ」「稲沢フィットネスロード」など、気軽に健康づくりができる場所も整備しています。稲沢市民病院にも乗り入れる「コミュニティバス」は高齢者や子育て世代にとつての外出支援になります。環境ボランティア「稲沢市さわやか隊」による環境美化活動など、美しい自然と快適な環境を守るための活動も行っています。

充実した
医療と福祉への
取り組み
身近に健康づくりができる
安心して暮らせるまち



平和らくらくプラザ

バーディプール

Birdie Pool

温浴療法の本場ドイツから機器を直輸入・配備したこの地方初の本格的な温水健康づくりプールです。ジェット水流を生かした打たせ湯など、楽しいアイテムが全部で16種類あり、健康生活をサポートします。





姉妹都市 ギリシャ共和国・オリンピア市

Sister city Olympia, Greece

人口 約13,500人 面積 544.88km²

オリンピア市からは、はだか祭や市内施設を視察する訪問団が訪れ、稲沢市からは、オリンピック聖火ランナーとして中学生の派遣などを行っています。

稲沢市は2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるギリシャ共和国のホストタウンに登録しています。事業の一環としてオリンピア市の中学生をホームステイで受け入れたり、オリンピック聖火トーチ展示会を駐日ギリシャ大使館と共催したりして交流を深めています。



リオデジャネイロ
オリンピック聖火リレー



オリンピア市
中学生のホームステイ事業



歴代オリンピック
聖火トーチ展示会

Sister and Friendship Cities
Deepening international exchange

深まる国際交流、 姉妹・友好都市

ギリシャ共和国・ オリンピア市



中華人民共和国・ 赤峰市

The circle of exchange extending overseas

The city of Olympia, where the ancient Olympics originated, joined Inazawa on August 22, 1987 in a sister city agreement based on the fact that they share long histories dating back before the first century, the fact that it houses numerous historic ruins and cultural assets, and the fact that men competed in the ancient Olympics naked. Chifeng connected to Inazawa when its economic review group observing Inazawa's gardening industry and the two cities entered a friendship city agreement on May 16, 1989 conducting a variety of exchanges since that time.

海外に広がる、
交流の輪

古代オリンピック発祥の地であるオリンピア市とは、両市ともに紀元前までさかのぼる歴史を持つ古い都市で、多くの遺跡や文化財があること、古代オリンピック競技は裸で行われ、はだか祭と共通することなどから、昭和62年8月22日に姉妹都市提携を結びました。赤峰市とは、経済考察団が稲沢の植木産業を視察したことが縁となり、平成元年5月16日に友好都市提携を締結し、さまざまな交流を行っています。

友好都市 中華人民共和国・赤峰市

Friendship city Chifeng,
People's Republic of China

人口 約460万人 面積 90,021km²

赤峰市と稲沢市の小学生同士で書道・絵画・版画などのテーマを決めた作品交流を毎年行っています。



石碑



総合防災訓練 Comprehensive disaster prevention drill

防災意識を高めるため、防災関係者および市民が参加します。応急救護訓練(AEDなど)やシェイクアウト訓練、防災料理の調理や炊き出しなど、多くのかたがさまざまな訓練を体験します。

A Safe and Secure Town Through
Disaster and Crime Prevention

Security with preparedness Disaster and crime prevention activities

Efforts are made to raise awareness about disaster prevention. Many citizens participate in comprehensive disaster prevention drills held in cooperation with disaster prevention-related organizations that include preparing meals outdoors, cooking in disasters, and shake-out training to save lives when an earthquake hits. In large-scale locations, such as parks, designated as temporary evacuation sites, we are promoting the development of disaster prevention facilities, such as the kamado (oven) bench that can be used as an oven in an emergency and the manhole toilet. In addition to firefighting, voluntary group activities that include crime prevention and traffic safety promotion are active to protect community safety.

防災意識を高めるため、炊き出し訓練や防災料理の調理、地震の揺れから命を守るシェイクアウト訓練など、防災関係機関の協力で総合防災訓練を実施し、多くの市民が参加しています。一時避難場所に指定されている公園・緑地の中で、規模が大きい場所には、災害時に「かまど」として使用できる「かまどベンチ」や「マンホールトイレ」など、防災施設の整備を進めています。地域の安全を守る消防はもちろん、防犯・交通安全推進ボランティア団体の活動など、自主防犯活動も広がっています。

備えて安心、 防災・防犯活動



防犯パトロール Crime prevention patrol

地域のボランティア団体が、安心して児童が登下校ができるよう安全確保する活動をしたり、犯罪抑止のためのパトロールを実施しています。

かまどベンチ



文化の丘公園 Bunkano-Oka Park

災害時に下水道に直接つないで、トイレとして使用できるマンホールや、かまどとして使用できるベンチなどを備えています。

活力ある
まちを目指して



農業体験学校 Agriculture experience-based school

小学生に郷土への愛着と農業への理解を深めてもらえるよう、市内の小中学校で農業体験学校を開校しています。さつまいもなどの定植から収穫までの農作業を、地域の認定農業者のかたなどの指導・助言を受けて行っています。

名鉄国府宮駅周辺再整備 Meitetsu Konomiya Station Area Restructuring

Aiming to be an energetic town

名古屋駅から約10分と通勤・通学に利便性の高い名鉄国府宮駅は本市の交通拠点となっています。2027年に予定されているリニア中央新幹線東京・名古屋間の開業に向けて、駅周辺の再整備が重要と考え、更なる魅力を創造し、市の顔にふさわしい空間を目指します。

**Fostering hometown pride
Initiatives to protect
local agriculture**

Inazawa City, located in the center of the Nobi Plain, has prospered as a vegetable production region from ancient times taking advantage of the fertile soil created by the three Kiso rivers. In terms of land usage, fields account for approximately 50% of the city's land. However, those involved in farming are aging rapidly and there is a shortage of successors. In consideration of the situation, various efforts are being implemented to establish the attractions of farming and promote local agriculture such as agricultural experience school geared toward elementary school students and the Haturatsu agriculture school.

郷土を愛する意識を醸成
地域の農業を守る取り組み

濃尾平野の中央に位置する稲沢市は、木曾三川がつくった肥沃な土壌と温かな気候を生かし、古くから野菜の生産地として栄えてきました。土地利用の状況では、市域の約5割を畑が占めています。

しかしながら、農業に携わる担い手の高齢化や後継者不足により、農業をめぐるとは現状は厳しさを増しています。こうした現状を踏まえ魅力ある農業を確立しようと、小学生向けの農業体験学校や「はつらつ農業塾」の開催など、郷土の農業振興に向けての取り組みを多角的に行っています。

未来につなげよう、
地域農業



はつらつ農業塾

Haturatsu agriculture school

農業への理解促進と多様な担い手づくりなどを目的に農業塾を開催しています。農業の楽しさを知る「生きがい農業コース」と、農業を仕事にしたいかたへの「担い手育成コース」で、野菜づくりなどの基本を学ぶことができます。



**Selected by top corporations as
a broad ranging business hub**

In the late 19th century, the textile industry prospered in the Owari Western region and Inazawa City developed as an agricultural and industrial city. Afterward, the opening of the Inazawa train yard on the former national railroad improved its transport functionality expanding sales channels for agricultural and industrial products throughout the nation. In the late 1950' s companies were invited to establish themselves in the city, which laid the foundation for today's industry. In Inazawa City, which was successful in attracting the factories of large corporations, general machinery and electronics parts-related industries have flourished in recent years. Its conveniently accessible location supports companies' potential for growth. The second phase of the Heiwa Industrial Complex is currently under construction and further vitalization can be expected.

生かした
企業誘致

明治時代、尾張西部地方で繊維産業が隆盛したことから、農業と工業のまちとして発展した稲沢市。大正時代、旧国鉄稲沢操車場が開場したことで輸送機能が向上し、農産品や工業製品の販路が全国的に拡大。昭和30年代に企業誘致を推進し、今日の産業の礎を築きました。

大企業の工場誘致に成功した稲沢市は、近年、一般機械や電子部品関連産業が盛んで、交通アクセスに優れた立地条件が企業の成長力を支えています。現在は第2期平和工業団地の造成工事が進められ、さらなる活性化が期待されます。

交通利便を
生かした
企業誘致

広域ビジネスの拠点として
優良企業に選ばれる場所

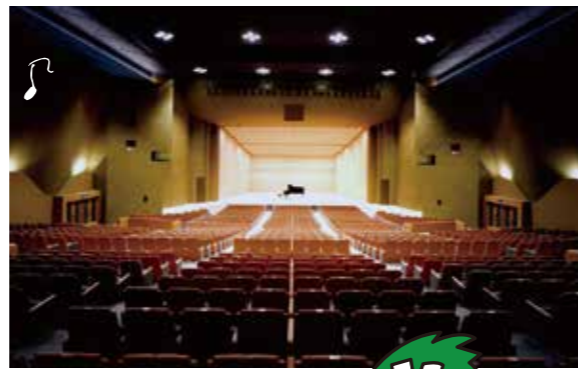


平和工業団地

Heiwa Industrial Complex

雇用創出など地域の活性化を図るため、平和地区において工業団地を開発しています。

憩い、
心豊かになる場所



名古屋文理大学文化
フォーラム (稲沢市民会館)

Nagoya Bunri University Culture
Forum (Inazawa Civic Hall)

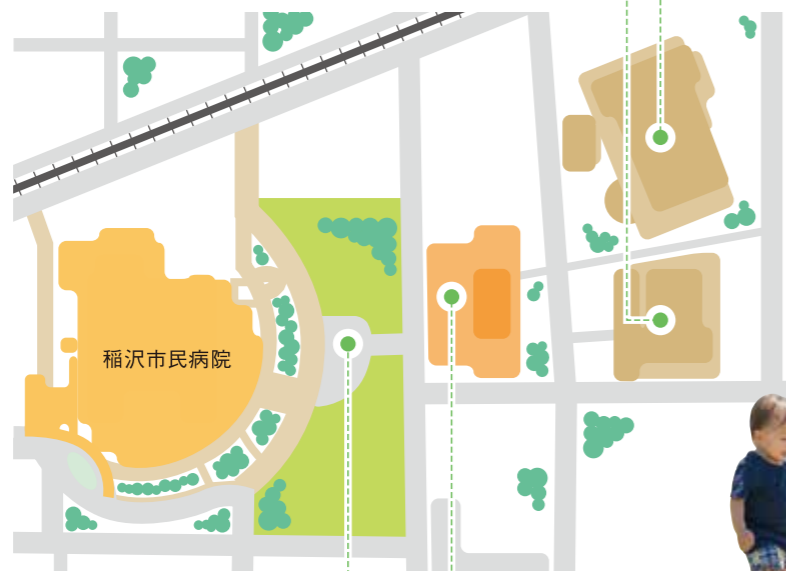
優れた音楽・舞台芸術の鑑賞、発表の場となる大ホール、市民の幅広い文化活動、交流の場となる中ホール、そしてコンサートや各種展示会など、さまざまな用途に使用できる小ホールの3つのホールを備えています。



大ホール Major hall



バーチャル観光



稲沢市民病院



文化の丘公園 Bunka-no-Oka Park

ストレッチ台などの健康遊具のほか、災害時にはマンホールの上
に簡易トイレを設置するなど、各種防災機能も備えています。



中央図書館 Central Library

約39万冊を所蔵している中央図書館は、館内に外光を取り込み、中央階段の
上部に設置している風の塔をはじめとする自然換気を採用し、ゆったりと読書が
できる環境となっています。



稲沢公園 Inazawa Park

A place to relax and recharge

公園周辺を含む「文化の杜」構想の核として計画された「緑と文化」のシンボルとなります。この文化の杜内にある荻須記念美術館との調和を考慮し、「緑に囲まれた憩い」「緑の中での遊び」「緑の中での鑑賞」の場として、緑・水・光を取り入れた自然景観で、市民の憩いの場となっております。

Revitalizing facilities
gathering together

Inazawa Park and its surrounding area known as Bunka-no-Mori (the grove of culture) have become symbols of nature and culture. Surrounded by horse chestnut, camphor, and a variety of other trees, it is an oasis of greenery, including a vast lawn expanding across 6000m2 and a rose garden. The area called Bunka-no-Oka (the hill of culture) surrounding the Nagoya Bunri University Culture Forum (Inazawa Civic Hall) is a place for community exchange. The central library and Bunka-no-Oka Park are also located here. In addition Sobue no Mori (Sobue Forest) is equipped with a heated pool, training gym, multi-purpose gymnasium, and tennis courts. In Inazawa City there are places for people to gather that can be used by people of all generations.

緑と文化の象徴的な存在となっているのが、稲沢公園と公園周辺を含む「文化の杜」。トチノキ、クスノキなどの木々に囲まれる、約6000㎡の広大な芝生広場やバラ園は、緑のオアシスです。名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)の周辺は「文化の丘」と呼ばれ地域の交流スポットになっています。隣接して、中央図書館や文化の丘公園が位置しています。また「祖父江の森」には、温水プールのほか、トレーニングルーム、多目的運動場、テニスコートなどを完備。稲沢市には、あらゆる世代が活用でき、人々が集まれる場所があります。

潤いを与えてくれる施設がコンパクトに集まる

人々が集まり、
笑顔があふれる



祖父江の森

Sobue no Mori (Sobue Forest)

温水プールやトレーニングルーム、サッカーやソフトボールができる多目的運動場をはじめ、テニスコートや図書館を整備しています。





重要文化財

長光寺 地蔵堂(六角円堂)

Jizo-do Hall (hexagonal hall), Chokoji Temple

屋根は翫葺形式の銅板葺で、頂に鉄造露盤と宝珠が置かれています。六角堂は全国にも残存するものが少なく、中世に遡る貴重な例となります。

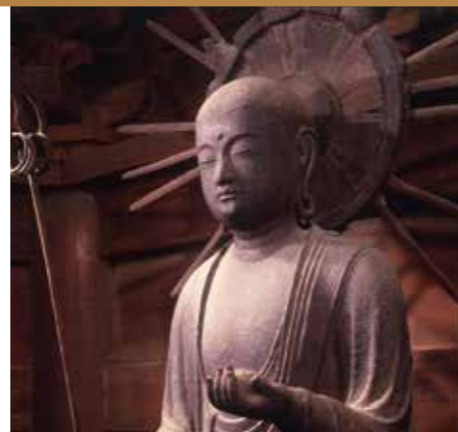


重要文化財

性海寺 多宝塔

Two-storied Pagoda, Shokaiji Temple

建立は建長5年(1253年)と伝えられているが、様式から室町時代中期の再建とされています。



重要文化財

長光寺 鉄造地蔵菩薩立像

Iron statue of standing Jizo-Bosatsu, Chokoji Temple

像高160cm、地蔵堂(六角円堂)の本尊です。正面の髪際にゆるい波形のカーブをみせ、眉目もよく整い、豊頬に円満な慈相を表しています。



重要文化財

亀翁寺 木造虚空蔵菩薩坐像

Wooden seated statue of Kokuzo Bosatsu, Kioji Temple

頭上の宝冠は高く、細かく入念な透彫りを施しています。体部は衣文を大きく表し、動きのある意匠となっています。

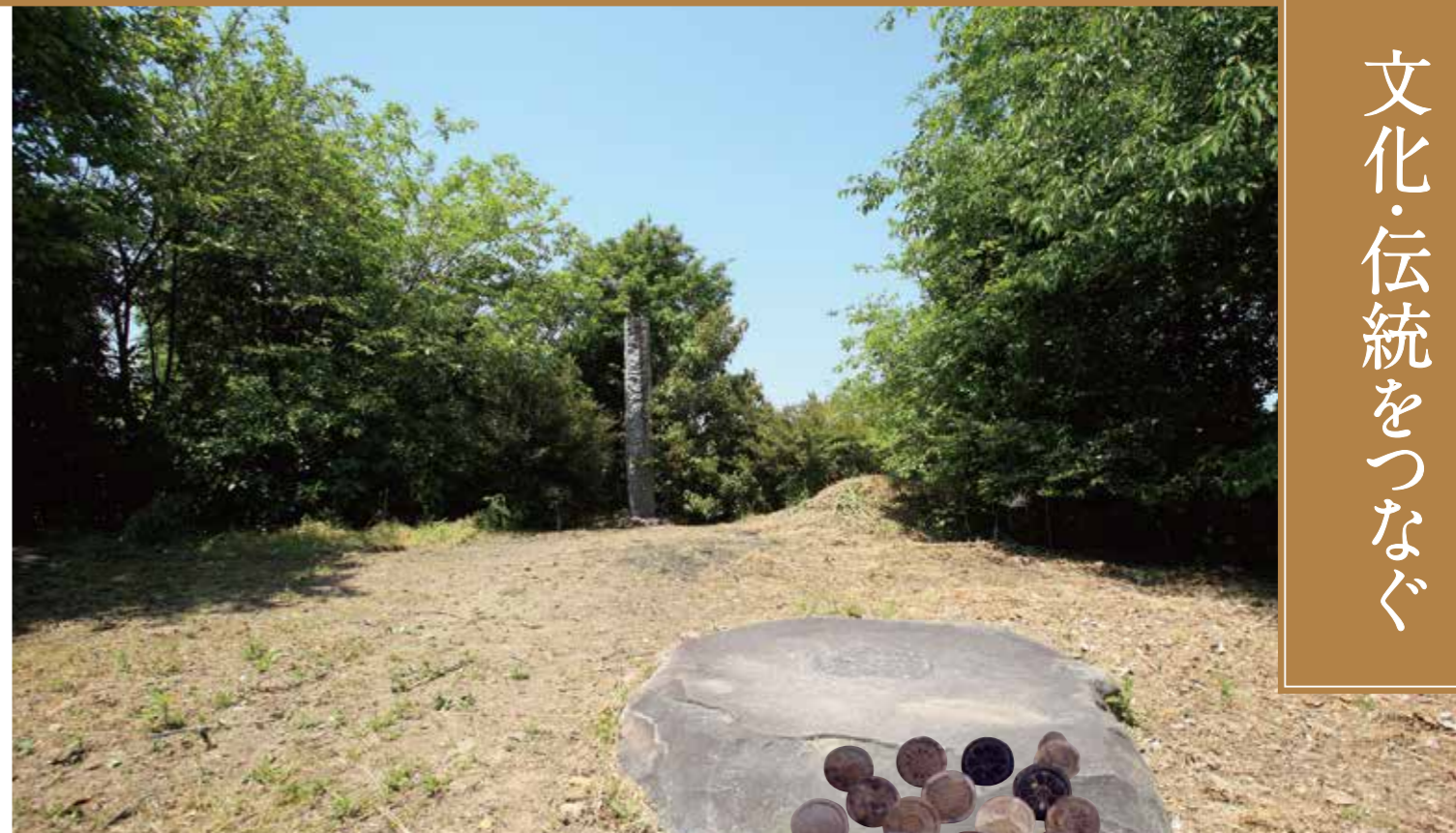


重要文化財

安楽寺 木造阿弥陀如来及び両脇侍坐像

Wooden Amida Nyorai statue and surrounding seated samurai statues, Anrajuji

この三尊一具は尾張地方に残る定朝風作例中出色のもので、この地の高い文化を如実に物語っています。



国指定史跡 尾張国分寺跡 Owari Kokubunji Temple ruins

奈良時代、聖武天皇が仏教によって政治や社会の不安を鎮めるため全国に置くことを命じた、古代の重要な寺院の遺跡です。

Connecting culture and tradition

出土軒丸瓦



県指定無形民俗文化財

尾張の虫送り行事

Owari-no-Mushiokuri event

夕暮れに、麦わらで作成された大きな実盛(さねもり)人形と松明が、鐘・太鼓に導かれ、水田の虫を追いながら練り歩きます。最後に燃え残った松明とともに、実盛人形を炎の中に投げ込みます。



市指定無形民俗文化財

山崎地蔵まつり つけたり 山崎地蔵寺太鼓

Yamazaki Jizoji Taiko Drumming for Yamazaki Jizo Festival

王塚地蔵寺にまつられている石造地蔵菩薩の地蔵盆の祭りです。近年太鼓の復活が図られ、小学生を中心に地蔵寺太鼓として演奏されています。



市指定有形民俗文化財

山車

Float

毎年7月第4土曜日に行われるこがし祭りに引かれる山車2台が祭りの主役。立部神社前に飾られ、五穀豊穡を祈願します。高さ4mの山車には60個余りの提灯や花が取り付けられ、華やかです。

The greatest treasure house of the Owari Region with superior works of Buddhist art

In the 7th century, the land of Japan was divided into more than 60 provinces, and the provincial government of Owari was established in Inazawa. Owari-Kokubunji Temple was built by order of Emperor Shomu for Buddhist protection of the country. Currently, the ruins of the main hall, pagoda, and sanctuary remain and it is estimated the temple was huge. The national historic site of the Owari Kokubunji Temple remains, the wooden statues of seated Amida Nyorai and Flanking Samurais at Anrajuji Temple, the two-storied pagoda at Shokaiji Temple, the wooden seated statue of Kokuzo Bosatsu at Kioji Temple, are just some of the 194 designated cultural assets in Inazawa. We can guess that this area was the center of Owari culture in ancient times.

国指定史跡の「尾張国分寺跡」をはじめ、安楽寺の「木造阿弥陀如来及び両脇侍坐像」、性海寺の「多宝塔」、亀翁寺の「木造虚空蔵菩薩坐像」など、現在、稲沢市には計194件の指定文化財を有します。その中でも仏教美術が数多く残っていることが、稲沢市の特徴となっています。

大化の改新(645年)を機に、日本は60以上の国に分けられ、尾張国の国衙が稲沢に設けられました。仏教による国家鎮護のため、奈良時代に聖武天皇により全国に国分寺を建てるよう詔が出され、尾張国分寺が建立されました。現在は、金堂跡、塔跡、講堂跡などが確認され、東西約200m、南北約300m以上の大寺院であったと推定されています。

優れた仏教美術が集まる 尾張地方随一の宝庫

歴史を重ねる 結晶として



文化財愛護少年団

Cultural Asset Preservation Youth Group

昭和51年7月に結成。市内の文化財、歴史に興味をもつ小・中学生を対象に、協調性や社会性を養い、郷土に対する愛護意識の普及を図っています。



世界が認めた
芸術に、
いつでも会える。

モンマルトル
1935年 / 油彩・カンヴァス / 65.0×81.0cm

パリ・モンマルトルの街角が、奥行きを強調する構図で描かれています。黄色いパン屋や赤いカフェが曲がり道に沿って並んでいて、遠くに見えるサクレ・クール寺院へと視線を誘導します。絵の具を少しずつ塗り重ねることで、道路や壁のざらざらした雰囲気が表現されています。



麦畑
1954年 / 油彩・カンヴァス / 50.0×60.6cm

青空の下、金色に実った穂が風に撫でられて気持ち良さそうに揺れている様子が、画面いっぱいに描かれています。青と黄色はお互いを引き立て合い、積みわらや遠くに見えるだいたいの色の地平線が空間に奥行きや広がりを感じさせます。日差しをあたたかさや麦穂の匂いを感じられる作品です。



金のかたつむり
1978年 / 油彩・カンヴァス / 146.0×97.0cm

手前にある5階建ての白い建物は、レストランです。現在は、この店はありませんが、萩須もここで食事をしました。1階のひさしの青色と、その上にあるレストランの看板「かたつむり」の黄色が、画面の明るいアクセントになっています。建物を見上げるように描き、隣の建物をあえて細部まで描き込まないことで、白い建物がせり出してより堂々と見えます。

全て萩須高徳作、稲沢市萩須記念美術館所蔵
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018 G1355

萩須高徳の略歴

西暦	年齢	主なできごと
1901	0歳	愛知県中島郡井長谷村大字井堀(現在の稲沢市井堀高見町)に生まれる
1921	20歳	愛知県立第三中学校(現在の津島高校)を卒業後、上京する
1927	26歳	東京美術学校(現在の東京藝術大学)を卒業後、9月にフランス留学の途につく
1928	27歳	この頃から署名をOguissにする サロン・ドートンヌに初入選
1930	29歳	パリのル・スタジオ画廊で初めての個展を開催する
1933	32歳	モンマルトルのオルドネル通りのアトリエに入居(美術館にこのアトリエを還元しています)



西暦	年齢	主なできごと
1936	35歳	サロン・ドートンヌ会員に推挙される
1940	39歳	第二次世界大戦の戦局悪化により13年ぶりに帰国する 帰国後は新制作派協会の会員として迎えられる
1948	47歳	日本人画家として戦後初めてフランスに渡る
1956	55歳	フランス政府から、レジオン・ドヌール勲章を授与される
1978	77歳	「萩須高徳パリ在住50年記念回顧展」が、パリ市主催で開催される
1981	80歳	稲沢市に《金のかたつむり》が寄贈される
1983	82歳	稲沢市萩須記念美術館が開館する
1986	84歳	パリのアトリエで死去 同日付で文化勲章が授与される

萩須高徳

Takanori Oguiss

浅岡敬史 撮影

Cultural figure beloved to the world

Artist from Inazawa beloved throughout the world

Takanori Oguiss continued to draw the streets of Paris from the pre-war period through the post-war period. Spending more than half his life in Paris, his achievements were acclaimed internationally and he received the Legion of Honour from the French government and the Order of Culture from the Japanese government. Takanori Oguiss was born in what is now Iboritakami Town in Inazawa City. He spent his sensitive years from infancy through his teens in Inazawa, and it was here in his hometown he cultivated the practice of staring deep into his subject to depict the scene before him.

The Paris Takanori Oguiss portrayed was not that of the brilliant main streets, but small shops and back alleys, old churches, and other scenes of regular everyday life in lesser parts of town. His paintings, drawn with the greatest affection down to the finest details, have an overflowing gentleness.

世界中で愛される
稲沢が生んだ画伯

戦前・戦後を通じてパリの街を描き続けた萩須高徳。画家としての生涯の大半をパリで過ごし、国際的な功績を残し、フランス政府がレジオン・ドヌール勲章を授与。日本政府より、文化勲章を贈られました。

萩須高徳が生まれたのは、現在の稲沢市井堀高見町。幼年期から10代までの多感な時代を稲沢で過ごし、対象物を深く見つめながら風景を描くという姿勢は、この郷土で培われました。

萩須高徳が描いたパリは、華やかな表通りではなく、小さな商店や路地裏、古びた教会などの日常の下町風景。細部まで愛情深く描かれた絵は、優しさに満ち溢れています。

美術文化の発信拠点として

美術館では、一般展示室の貸出を行っています。年間50を超えるグループや個人が作品発表の場として利用しています。また、会議室では美術館が主催する講演会や講座の他、約20のグループが絵画などの美術講座を自主的に行っており、市民の芸術発表や文化交流の拠点となっています。



萩須記念美術館
Oguiss Memorial Art Museum

文化の杜の一角にあり、館内には萩須本人から寄贈された作品を含め、東京美術学校時代の習作から晩年の作品まで、各時期の作品が展示されています。

稲沢市の あゆみ

A Chronological History of Inazawa City



昭和33年に市制施行し、平成17年には祖父江町、平和町と合併し、新「稲沢市」として、さらなる発展を続けています。

Established as a city in 1958 and amalgamated with the towns of Sobue and Heiwa in 2005, the new Inazawa City continues to develop today.

1970年(昭和45年)

- 5月18日 勤労青少年ホーム開館
- 7月15日 稲沢操車場新跨線橋完成
- 11月1日 市役所新庁舎完成



1971年(昭和46年)

- 5月31日 勤労青少年センター開館

1973年(昭和48年)

- 3月20日 し尿処理場完成

1975年(昭和50年)

- 5月31日 祖父江斎場完成
- 7月20日 総合文化センター開館

1978年(昭和53年)

- 3月11日 尾張国銜趾発掘調査始まる
- 5月10日 勤労福祉会館開館
- 11月20日 総合体育館開館

1979年(昭和54年)

- 6月6日 安楽寺の木造阿彌陀如来坐像等2件が国の重要文化財に指定
- 10月23日 平和の塔除幕

1980年(昭和55年)

- 4月10日 社会福祉会館開館
- 10月1日 ●出張所・公民館を整備して「地区市民センター」を開設
●荻須高德氏を本市初の名誉市民に推挙

1981年(昭和56年)

- 4月13日 働く婦人の家開館
- 5月29日 まちづくり協議会第1号発足

1982年(昭和57年)

- 4月2日 オンラインシステム始動

1983年(昭和58年)

- 8月2日 ●荻須記念美術館開館
●全国高校総体ボクシング競技会開催

1984年(昭和59年)

- 4月1日 行政情報公開制度開始
- 4月28日 少年愛護センター開設

1986年(昭和61年)

- 4月6日 第1回稲沢桜まつり開催
- 6月7日 愛知県植木センター開所
- 11月9日 故荻須高德画伯の市民葬が荻須記念美術館で行われる

1987年(昭和62年)

- 8月22日 ギリシャ・オリンピック市と姉妹都市提携調印

1988年(昭和63年)

- 3月1日 在宅老人デイサービス事業開始
- 5月17日 稲沢公園開園
- 11月1日 市制30周年記念式典開催

1989年(平成元年)

- 2月28日 赤染衛門歌碑公園開園
- 5月16日 中国・赤峰市と友好都市提携調印

1990年(平成2年)

- 5月1日 国際花と緑の博覧会に日本庭園を出展
- 9月9日 陸上競技場開場

1991年(平成3年)

- 3月20日 「新修稲沢市史」全25巻完結

1992年(平成4年)

- 4月1日 大塚性海寺歴史公園開園

1993年(平成5年)

- 4月4日 完全土曜開庁開始
- 7月25日 市制35周年記念事業「サマーフェスティバル」開催

1994年(平成6年)

- 10月30日 わかしやち国体ボクシング競技会開催

1995年(平成7年)

- 3月24日 市民会館開館

1996年(平成8年)

- 3月25日 荻須画伯アトリエ復元施設開設

1997年(平成9年)

- 12月20日 市内中学生が、長野五輪のギリシャ・オリンピック市の聖火ランナーに参加

1998年(平成10年)

- 2月24日 NHKドラマ「庭師サッチャン」放映(16回)
- 10月24日 市制40周年記念事業「40祭(よんじゅっさい)」開催

1999年(平成11年)

- 4月3日 戸籍事務電算システム化
- 5月1日 市政番組「ふれあい通信」が稲沢ケーブルテレビで放映開始
- 6月22日 総人口10万人達成
- 10月9日 ホームページ開設

2000年(平成12年)

- 3月21日 清掃工場リニューアル
- 4月1日 公共下水道一部供用開始
- 9月11日 東海豪雨(～12日)
- 12月22日 稲沢駅東西自由通路完成

2001年(平成13年)

- 9月26日 市庁舎ISO14001取得
- 11月13日 生誕100年記念荻須高德展

2002年(平成14年)

- 4月1日 稲沢中島広域事務組合発足
- 6月1日 市民活動支援センター開設
- 10月1日 ファミリーサポートセンター開設

2003年(平成15年)

- 3月3日 新消防庁舎移転開庁
- 7月1日 稲沢市・祖父江町・平和町合併協議会設置
- 11月1日 市制45周年記念式典開催

2004年(平成16年)

- 6月1日 稲沢市・祖父江町・平和町合併協定調印式

2005年(平成17年)

- 4月1日 新「稲沢市」誕生
- 6月20日 ●非核・平和都市宣言
●交通安全都市宣言
- 9月30日 ●ゆとり創造都市宣言
●明るい青少年都市宣言

2006年(平成18年)

- 6月1日 市の木に「クロマツ」、市の花に「キク」を制定
- 8月7日 稲沢市観光協会設立
- 11月1日 中央図書館開館

2007年(平成19年)

- 6月26日 第5次総合計画を策定

2008年(平成20年)

- 7月1日 コミュニティバス試行運転開始
- 11月1日 市制50周年記念式典開催

2009年(平成21年)

- 4月9日 市営住宅西島団地25棟完成、明治老人福祉センターけやき館開館
- 11月26日 稲沢市さわやか隊結成
- 12月1日 観光キャッチコピー「いなっぴーが夢先案内人」発表

2010年(平成22年)

- 4月1日 市民病院、地方公営企業法の全部適用に移行
- 7月1日 コミュニティバス本運行開始
- 9月1日 緊急情報配信システム稼働

2012年(平成24年)

- 3月31日 稲沢夢達(ゆめあい)橋開通

2013年(平成25年)

- 4月1日 同報系防災行政無線の運用開始
- 11月1日 市制55周年記念式典開催

2014年(平成26年)

- 4月1日 平和工業団地操業開始
- 10月1日 いなっぴーナンバープレート交付開始
- 11月4日 新市民病院開院



2015年(平成27年)

- 12月2日 稲沢東部学校給食調理場完成

2016年(平成28年)

- 4月1日 一宮市・稲沢市消防指令センターを開設
- 12月1日 平和町学校給食調理場完成

2017年(平成29年)

- 2月5日 第1回稲沢イルミネーション開催
- 4月1日 長野子育て支援センター開所
- 5月8日 祖父江・平和支所を移転
- 9月29日 第6次総合計画を策定
- 12月14日 稲沢市ロゴマークを制定

2018年(平成30年)

- 11月1日 市制60周年記念式典開催

旧祖父江町の略年表

- 1896年(明治29年) 町制施行(8月17日)
- 1971年(昭和46年) 祖父江町役場庁舎完成
- 1972年(昭和47年) 勤労青少年ホーム完成
- 1979年(昭和54年) 祖父江町史、資料編完成
- 1981年(昭和56年) 総合センター完成
- 1987年(昭和62年) ●木曾三川治水百周年を記念し「祖父江砂丘」木曾三川36景に選定
●祖父江町郷土資料館開館
- 1989年(平成元年) 祖父江町給食センター完成
- 1994年(平成6年) 祖父江町中央図書館完成
- 1996年(平成8年) ●町民憲章制定
●祖父江町温水プール完成
●町制100周年
- 1998年(平成10年) 祖父江町テニスコート完成
- 2004年(平成16年) 祖父江の森多目的運動場完成
- 2005年(平成17年) 開町記念式典

旧平和町の略年表

- 1954年(昭和29年) 町制施行(4月1日)
- 1959年(昭和34年) 伊勢湾台風による弥富町集団疎開受け入れ
- 1964年(昭和39年) 平和町営プール完成
- 1977年(昭和52年) 平和町役場庁舎完成
- 1981年(昭和56年) 平和町総合体育館完成
- 1982年(昭和57年) 平和町誌発刊
- 1984年(昭和59年) 平和町農村環境改善センター完成
- 1986年(昭和61年) 平和町立図書館開館
- 1989年(平成元年) 平和町民憲章制定
- 1993年(平成5年) 日光川桜づつみ完成
- 1997年(平成9年) 須ヶ谷川桜づつみ完成
- 2002年(平成14年) 平和ららくらぐら完成
- 2004年(平成16年) 町制施行50周年
- 2005年(平成17年) 開町記念式典

重点戦略

1

「攻め」と「守り」の定住促進

転入者向けの宅地供給(攻めの施策)と、住み慣れた地域での定住希望への対応(守りの施策)を推進します。

中心市街地としての都市機能を強化し、にぎわいを創出するため、名鉄国府宮駅周辺の再整備に取り組みます。

名古屋市近郊という地理的優位性を生かし、主要駅周辺で新たな住居系市街地を形成します。

地域コミュニティの維持を図るため、さまざまな手法を検討し、市街化調整区域における定住ニーズに応えます。

重点戦略

2

若い世代が安心して子育てできる環境整備

社会情勢や子育て世代のニーズを把握し、子育て環境を充実させます。

全ての子育て世帯を対象に、子ども・子育てに関する情報を提供し、気軽に相談できる体制を整えます。

企業内保育や小規模保育事業、認定こども園など、新たな制度やニーズに応じて、官民連携による保育体制を整えます。

保育士人材の確保に努め、保育の質を守ります。

重点戦略

3

多種多様な産業振興

大都市近郊の特性や強みを生かし、企業誘致や産業振興に取り組みます。

広域交通条件に恵まれた特性を生かした企業誘致を行います。地元企業のPRや事業承継、新規創業の支援に努めます。

農業従事者の確保に努め、農地集約や6次産業化など、農業経営の安定化・効率化に向けた活動を支援します。

重点戦略

4

次世代のための行政改革

人口減少、超高齢化、財政のひっ迫といった現実に向き合い、行政サービスを継続的に提供できるよう行政運営の改革に努めます。

将来のまちの姿を見据え、公共施設の再編に取り組みます。

地域による自主的なまちづくりの活性化に努め、稲沢市に対する市民の「誇り・愛着」の醸成を図ります。

行政施策

稲沢市ステージアッププラン

Inazawa City Stage Up Plan

将来の世代が稲沢市を愛し、暮らし続けるための新たなビジョン。

総合計画とは、稲沢市の行政運営全般について基本的な方針を示す市の最上位計画です。『第6次稲沢市総合計画』では、常に今よりも一つ高い次元を意識してまちづくりに取り組むために、『稲沢市ステージアッププラン』という名称を付けました。本プランは、2018(平成30)年度から2027年度までの10年間を計画期間とする新たなまちづくりの指針です。本プランを推進するにあたっては、「ステージアップ 稲沢」をスローガンとして掲げ、市民の皆様と新たな魅力ある稲沢市を目指します。

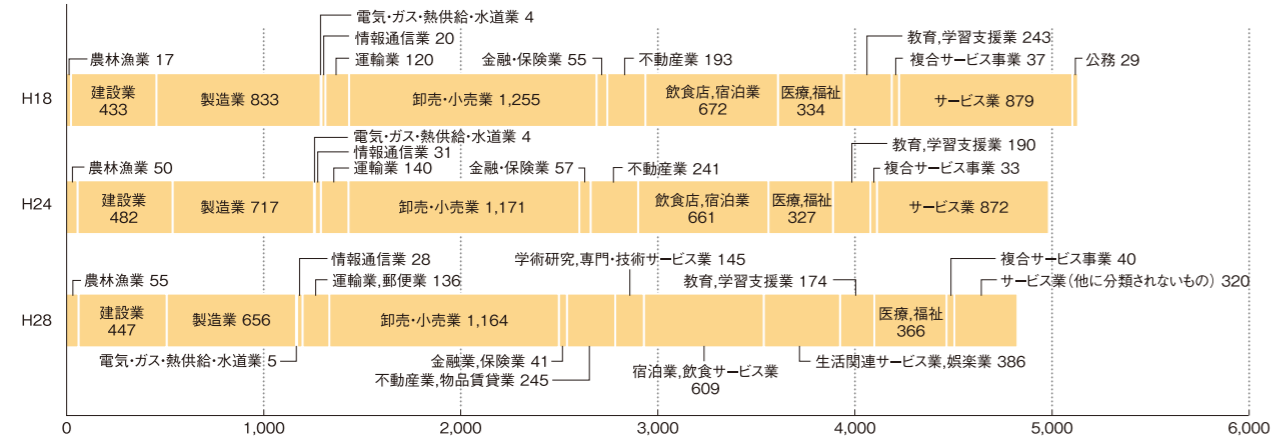


※%については、小数点以下第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計値が100.0%にならない場合があります。

産業 INDUSTRY

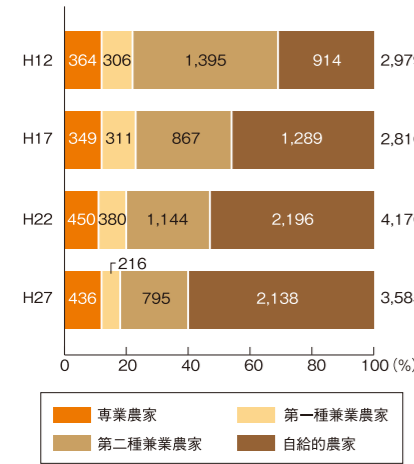
産業(大分類)別事業所数の推移 (単位:事業所数)

資料:事業所・企業統計調査、経済センサス活動調査 注:平成24年は2月1日現在、平成28年は6月1日現在。平成24年から経済センサス活動調査。



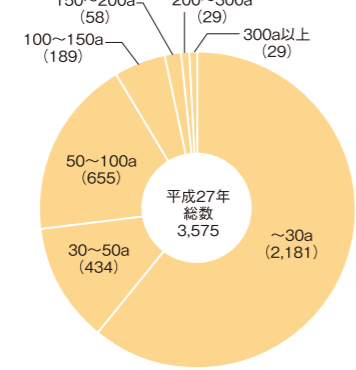
専業・兼業農家の割合 (単位:戸)

資料:農林業センサス 各年2月1日現在



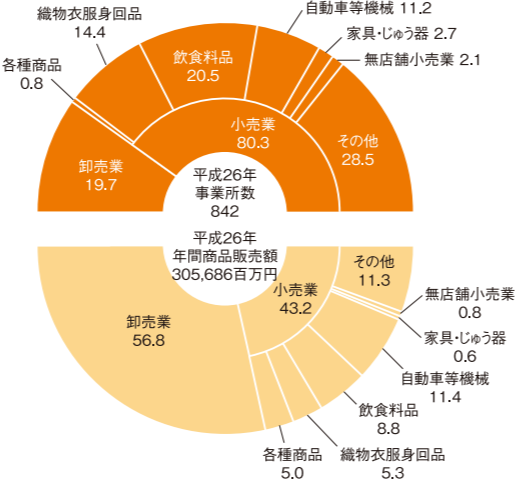
経営耕地面積規模別農家数 (単位:戸)

資料:農林業センサス 平成27年2月1日現在



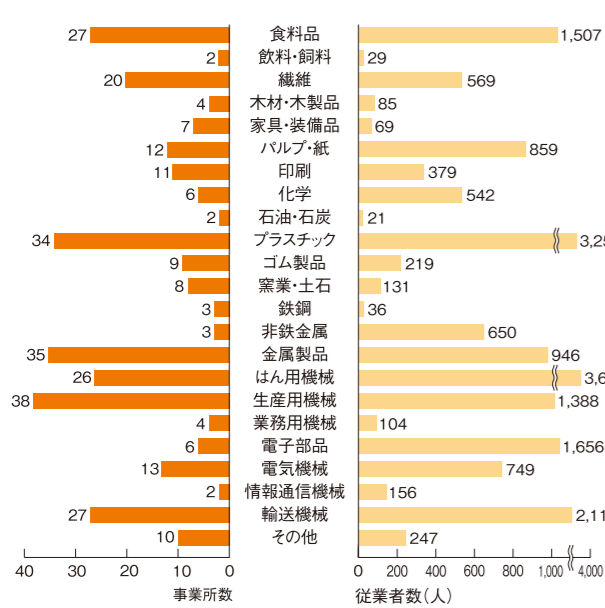
商業の構成 (単位:%)

資料:商業統計調査 平成26年6月1日現在



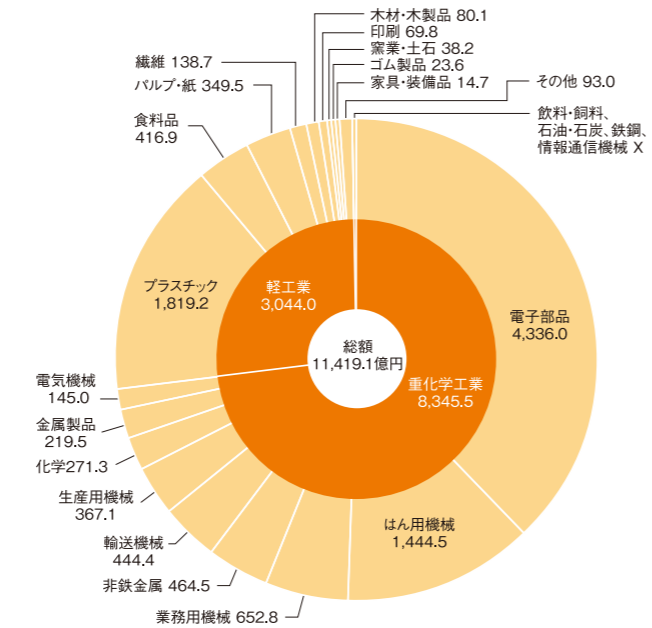
産業(中分類)別製造業の概況

資料:工業統計調査 平成29年6月1日現在



産業(中分類)製造品出荷額等 (単位:億円)

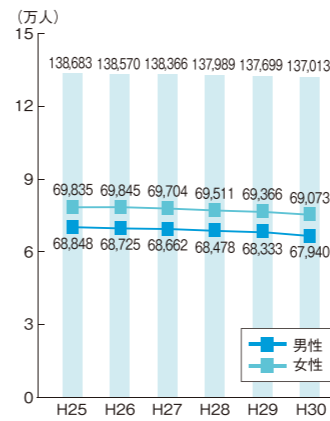
資料:工業統計調査 平成29年6月1日現在



人口 POPULATION

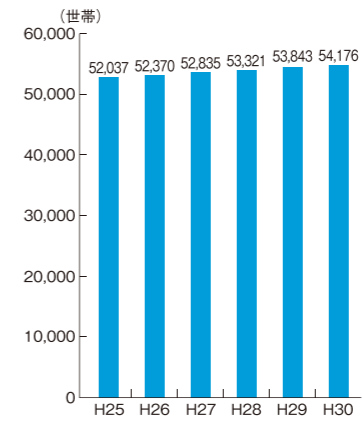
人口

資料:住民基本台帳 各年8月1日現在



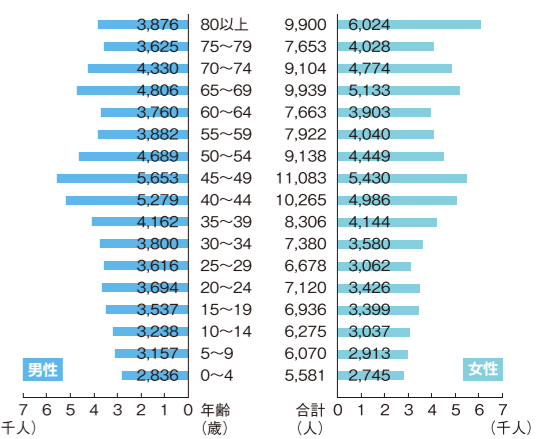
世帯数

資料:住民基本台帳 各年8月1日現在



5歳階級別人口

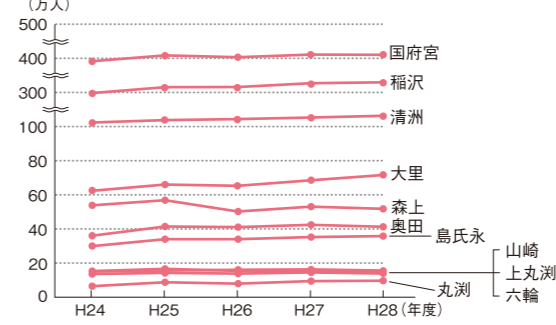
資料:住民基本台帳 平成30年8月1日現在



生活 LIFE

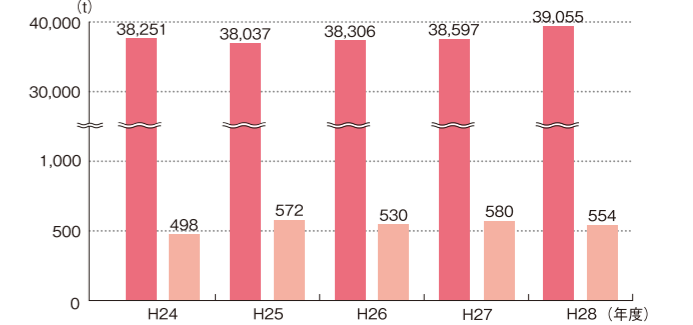
各駅年間乗車人員の推移

資料:名古屋鉄道株式会社・東海旅客鉄道株式会社



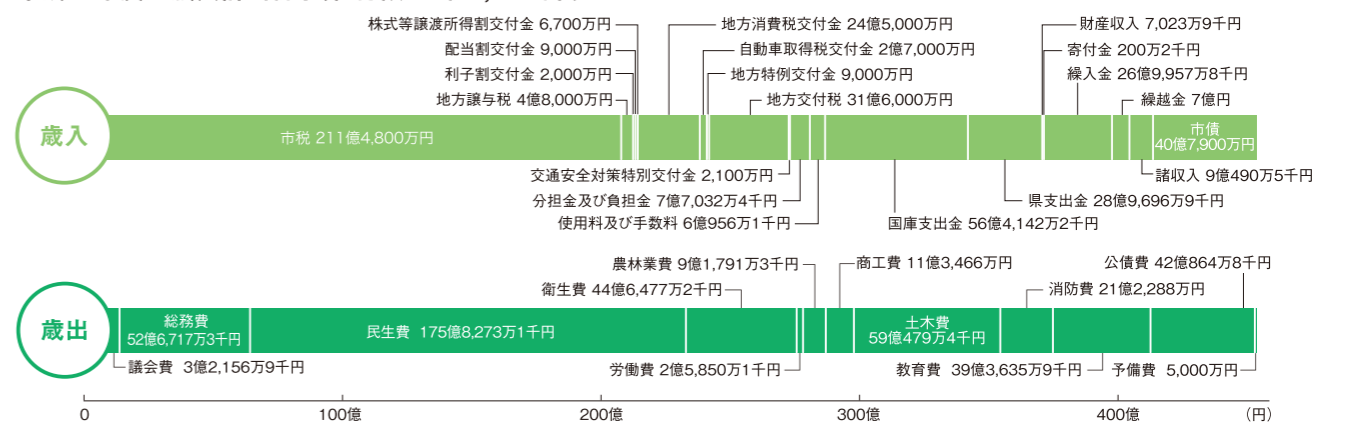
ごみ処理状況

資料:各自治体発表 平成24~28年度



財政 FINANCE

平成30年度一般会計当初予算 総額461億7,000万円



普通会計決算状況

